

2017

シルバー久喜

第7号

発行 公益社団法人久喜市シルバー人材センター（普及啓発部会）

久喜市鷺宮6-1-6 TEL 58-3677 FAX 57-1800 <http://www.sjc.ne.jp/kukisc/> Eメール kukisc@sjc.ne.jp

謹賀新年



沼井公園に飛来した黒鳥
(榎原和雄 鷺宮地区)

埼玉県シルバー人材センター連合マスコット



いきいきさん



はつらつさん

シルバー人材センター基本理念

- 自主 センターを私たちのものとして考えます
- 自立 センターを私たちの力で育てます
- 共働 私たち会員は共に仲良く働きます
- 共助 私たち会員は互いに助け合います

年頭のあいさつ



理事長 齋藤忠雄

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはご家族おそろいで、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。会員の皆様をはじめ、市民、市内事業所、市の関係部署の皆様方におかれましては、久喜市シルバー人材センターの運営に多大なるご理解、ご協力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は熊本地方の大地震、東北、北海道地方の台風等の甚大な自然災害がありました。被災された地方の方々に心からお見舞い申し上げます。

一方、外国では英国のEU離脱、中国の東シナ海開発、米国の次期大統領にトランプ氏、北朝鮮や韓国の諸事情等が、日本に与える影響に懸念があります。

このような中にありましてシルバー人材センターにつきましては、安倍首相の施政

方針演説にありますように「柔軟かつ多様な働き方として、高齢者の皆さんに多様な就業機会を提供する。シルバー人材センターには更にその機能を発揮し、あらゆる人が生きがいを持って社会で活躍できることが力強い成長につながるはず」と言われています。そして派遣法の改正や、二〇二〇年の東京オリンピックの開催等も就業の拡大、会員の拡大、派遣契約の推進等、センターには大いにプラスに働くはずです。期待しながら頑張りました。

高齢化社会が急速に進む中、働くことを通じて生きがいと健康づくりを進め、経験と知恵を活かし、より良い地域社会づくりとさらに貢献して参りましょう。そして関係する市の各部署、企業発注者や市民の皆様から、期待され、より信頼される元気な高齢者（アクティブシニア）が活躍する街、久喜市シルバー人材センターを目指しましょう。

これらは会員の皆様が先ず家族と仕事を大事にすること、仲間を大切に思いやること、共同作業ではチーム力を発揮できること、そして安全適正就業を徹底できること

が必要です。

本年を新しい安全文化（安全を最優先する個人、企業、団体、社会の風土等）構築の年と位置付け、会員の皆様のさらなる安全意識の向上に向けて、安全ルールの徹底、安全パトロールの実施、安全研修会の実施等を進めて参ります。

結びにあたり会員皆様のご健勝と一層のご活躍、並びに本年が皆様にとり、実り多き年となりますよう心より祈念申し上げます。して新年のごあいさつとさせていただきます。





久喜市長 田中暄二

あけましておめでとうございます。

公益社団法人久喜市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いでお健やかに、輝かしい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

シルバー人材センターでは、高齢者の就業機会の確保・拡大などへの積極的な取り組みや、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上、活性化に貢献いただいております、深く感謝を申し上げます。

本市とシルバー人材センター及び商工会で、空き家等の適正管理に関する協定を平成二十八年五月二日に締結し、同センターでは空き家等の所有者から委託を受け、空き家の見回りや除草などを会員の皆様が行っております。このような取り組みが、空き家等の適正な管理と就業機会の拡大に繋がっており、今後も少子高齢の進行に伴い

増加すると予想されている空き家の管理問題の解決に繋がるものと期待しております。

昨年は、リオオリンピック・パラリンピックが開催され、日本として史上最多のメダルを獲得し、多くの日本人が活躍いたしました。中でも陸上男子四〇〇Mリレーでの銀メダル獲得は、史上初となる快挙となりました。久喜市におきましては、昨年三月に第一回久喜マラソン大会を開催し、大勢の方々にご参加いただきました。

本年、三月十九日には第二回となる久喜マラソン大会を開催いたしますので、当日のボランティアや沿道での声援など、ご協力をいただけましたら幸いです。

これからも、市民の皆様が「久喜に住んでよかった」と実感いただけるよう、まちづくり重点政策「久喜No.一宣言」に、全力で取り組んでまいりますので、久喜市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、公益社団法人久喜市シルバー人材センターの益々のご発展を心からお祈り申し上げます、会員の皆様におか

れましては、より一層御活躍いただける一年となりますよう切に願ひ、新年のごあいさつといたします。

謹賀新年

- 理事長 齋藤 忠雄
- 副理事長 和田 一也
- 常務理事 橋本 勉
- 理事 酒卷 康至
- 岡野 みち子
- 亀田 文江
- 杉山 佳佑
- 曾和 健
- 高橋 三男
- 田口 英夫
- 友田 貴意知
- 内藤 睦央
- 内藤 洋子
- 町田 義治
- 菊地 雅之
- 監事 中島 康夫

会員の声

念願の「槍ヶ岳」に登頂しました

福嶋 祐彦（栗橋）

「栗橋いきいき活動センター」で管理業務を担当しておりますが、利用される皆様方がいつも気持ち良くご利用いただけるよう願っています。

私は、六十歳過ぎに会社の登山クラブに入りましたが、最初は山を楽しむより、皆に遅れず、置いていかれないよう必死でした。

早池峰山、甲斐駒ヶ岳等、十余りの百名山に登りましたが、昨今は、生きがい大学、高齢者大学同窓の皆さんと関東周辺の低山歩きを楽しんでおります。

四年前、友人の誘いで富士山のお鉢回り。次年、北アルプス蝶ヶ岳、常念岳を縦走した時眼前に広がる槍ヶ岳、穂高連峰の素晴らしさに魅せられ槍ヶ岳に登ろうと決心しました。

翌年、高尾山周辺で訓練、八月槍ヶ岳計画するも天候が悪く

断念。

翌々年も八ヶ岳等で訓練、計画したが又も天候不順で断念。

今年も雲取山等の訓練後七月三日雨との予報を押して上高地へ。現地は晴れで、山小屋槍沢ロッジ泊、早朝出発、天狗原では水面に映る「逆さ槍」に感動。急峻なジグザグ道を登り詰め槍ヶ岳の佇む「槍の肩」到着。一時間ほど休息後クサリ・鉄梯子を緊張しつつ乗り継ぎ、三年越し念願の槍ヶ岳に登頂。九月は奇しくも七十四歳の誕生日に当たり感無量でした。今後無理をせず、山を楽しんで行こうと思います。



シルバー人材センターの先生方へ

金田 彰子（鷺宮）

シルバー人材センターを初めて知ったのは、市内の会社で働いていた時でした。会社の作業委託で、工場内での軽作業に男性の方が来られ、事務所内の清掃、食堂での昼食の準備や片付けには、女性の方が来られた時でした。会社に来られたシルバ―会員の方々の年齢を感じさせない生き生きと働かれる姿に感動し、自分も定年後はシルバー人材センターに登録したいと思いい、現在に至っています。

私は、鷺宮庁舎で電話交換業務の仕事をさせていただき、もう五年目になります。

今でも、電話機の着信音にビクツとし、緊張します。電話の声に耳を傾け、頭を集中させ、素早く繋ぐよう努力しています。お蔭様で、ここまで来れたのは、先輩方の指導と周りの方の協力があったとのことと感謝しています。

電話交換業務は、「敏速・丁寧・正確に」をモットーとしています。

私も、お客様に満足してもらえような電話交換業務ができるよう、配布される広報誌やお知らせ版、その他の配布紙にも注意深く目を通しています。また風邪などひかないよう健康管理にも充分留意しています。

緊張感のある仕事だからこそ、無事に仕事を終えた後の解放感は、また何ともいえません。本当に安堵感いっぱいです。

フルタイムで仕事をしていた頃は、思うように時間がとれず無駄に時間を過ごし、何事も億劫になっていたのですが、最近は周りの方の刺激をもらい、新しいことに挑戦し、頑張っています。新しい体験は、新しい発見もあり、感動です。また、同じ目的の方々と話す機会も増え、ストレス解消にもなっています。これからも、メリハリのある生活で生き生きといきたいと思っています。



私の趣味

西村 裕 (菖蒲)

シルバーに入会して四年余りたちました。

現在、菖蒲総合支所で、掃除や危険物の管理の仕事をしています。春から秋は、庁舎内の掃除の他に、周りの草取り。秋から冬は落ち葉の始末を行い、季節を肌で感じながら仕事をしております。

趣味はドライブ旅行とクラシックギターです。

旅行は年一回遠出をしており、特に印象深かったのは、三年前に鹿児島まで行った一人旅です。幸い天候に恵まれて、途中に立ち寄った静岡三保の松原からの富士山の遠望、兵庫六甲山から神戸の夜景、神秘的な山口の秋芳洞、熊本阿蘇の雄大なカルデラ、宮崎日南海岸の鬼の洗濯板と南国情緒漂うフェニックスの並木、鹿児島島の噴煙を上げる桜島などなど。それと共に、各地での一期一会であろう人達との出会い、語らい。今も情景が鮮明に甦ります。

今年も九月に気ままな一人旅。



明石でふらりと酔ったスナックでの事です。ビールを軽く飲みながらカラオケで歌って上機嫌。やがて店のトイレに立ったところ、真正面の壁にこんな張り紙がありました。『人は信念と共に若く、疑念と共に老いる』『人は自信と共に若く、恐怖と共に老いる』『希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる』この言葉が強く記憶に残りました。旅から戻ってから調べたところ、米国の詩人 サミエル・ウエルマンの和訳で、結構有名な言葉だそうです。

これからも心を若く持って、仕事に、趣味に人生を楽しんでいけたらと思っています。

私の趣味

原田 進 (久喜)

人それぞれ趣味を持っていると思います。私もいくつかの趣味を持っていて現在でも実行しています。

一つ目は旅行です。これは旧国鉄に就職したことに始まります。交通費・宿泊費等其他の方より安価で行けたことでしょうか。

一人で、職場の仲間と、家族と相手は変わっていますが、北は北海道から南は九州沖縄まで全国を回ってきました。

行く先々での名所旧跡見物、産地の美味しい物を食べ地元の人達との会話等楽しさいっぱいでした。

一方で東北での旅で、地元の人たちの話が分からず皆で苦笑い。又九州では台風直撃を受け宿から一歩も動けず、行程を変更するなど笑える失敗も数知れず。今となつてはいい思い出となり後々の仲間とのコミュニケーションの一助となっています。

二つ目は神社の朱印集めです。



正月の七福神めぐりをはじめ関東を中心に歩き回っています。歴史的な発見も少なくなく、又字の達筆に驚いたりしています。神社によりますが宮司さんのお宅へ上げていただき直接話を聞いたり、時として神社のお供え物を分けていただいたり、これも楽しみの一つであります。現在五百を超える神社を回り、シオリ、写真と共にファイルし時々ページを捲っては楽しんでいます。

さて私もシルバー会員として七年目となりました。現在はいみん農園にて、建物管理、農園内の管理等多岐にわたる作業を仲間七人と共に作業を行っています。

夏の熱中症対策、農機具による物損傷害事故防止に日々取り組んでいます。

これからも仲間と共に頑張っていきたいと思えます。

女性部会立ち上げ

久喜市シルバー人材センターにおける女性会員の入会率は〇・八%で、県平均の一・二%よりも低い割合になっています。

そこで、女性会員のネットワークの構築と女性会員の増強を目的とし「女性部会」を立ち上げました。

女性部会では、女性の特性を生かした就業の開拓や、講習会等を開催し会員のスキルアップを図ると共に、講習会は会員外にも参加を呼びかけ、シルバー事業を理解してもらい、入会の促進を図ります。

女性会員の皆様には女性部会の活動にご協力をお願いすると共に、お知り合いにお声掛けいただき、会員増強にご協力いただきますようお願いいたします。

女性部会メンバー

部会長
副部会長
部会員

岡野 金子 幸みち子
金子 登美子
植原 幸子
岡野 瑞恵
岡野 文恵
藤田 洋子
内藤 洋子

シルバー人材センターの適正就業ガイドライン

シルバー人材センターで働く高齢者の皆さまの就業日数などの上限や、請負、委任、派遣、職業紹介といった就業形態別の働き方などをご紹介します。

1 シルバー人材センターとは？

- シルバー人材センターは、高齢者に働く機会を提供し、高齢者の生きがいの充実や生活の安定、地域社会の発展や現役世代の下支えなどを推進することを目指しています。
- シルバー人材センターは、企業、家庭、官公庁などから業務を受注し、高齢者に働く場として提供しています。
- シルバー人材センターは、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、都道府県知事が指定しています。

2 シルバー人材センターで働く高齢者の就業日数、就業時間

- シルバー人材センターが会員に提供する業務は、臨時的かつ短期的または軽易な業務であり、シルバー人材センターで働く高齢者の就業日数と就業時間は、おおむね月10日以内、または、おおむね週20時間をこえない範囲となります。
- このため、シルバー人材センターでの働き方は、現役世代の労働者などが1人で行う業務を、複数の高齢者が時間や日にちで分担して行う方法（ローテーション就業）が基本となります。

○シルバー人材センターで働く高齢者の日数、時間の上限

日数の上限	おおむね月10日程度以内
時間の上限	おおむね週20時間をこえないことを目安



3 就業形態別の主な相違点

	請負	委任	派遣	職業紹介
目的	会員が業務を完成させること	会員が業務を実施させること	会員が発注者の指揮命令に従い労働すること	会員などが発注者の指揮命令に従い労働すること
会員の雇用	会員は雇用されない	会員は雇用されない	シルバー人材センターが会員を雇用する	発注者が会員などを雇用する
指揮命令	発注者は会員に指揮命令できない	発注者は会員に指揮命令できない	発注者は会員に指揮命令できる	発注者は会員などに指揮命令できる

配分金収入等に対する所得税の取扱いについて

シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取り扱いは以下のとおりです。

1. 配分金収入は、所得税法上『雑所得』に区分されます。雑所得の金額は原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した額です。
従って、配分金収入に係る必要経費の額は、65万円以上ある場合、配分金収入から必要経費の全額を控除とします。
2. しかし、必要経費の額が65万円未満の場合は『租税特別措置法』第27条の適用により、65万円を上限として控除します。（ただし、収入金額を限度とします。）
3. 公的年金を受給している会員は、配分金収入とは別に公的年金等控除を行えます。
4. 給与収入のある会員は、最低65万円（ただし収入金額を限度とします。）の給与所得控除が受けられますが、その場合、配分金収入に係る控除額は、65万円から給与所得を控除した残額が限度です。

【必要経費の額が65万円未満の場合の例示】

〔設例〕あるセンター会員（66歳）の年間収入は次のようなものでした。

- ①配分金収入 52万円（うち交通費等の必要経費10万円）
- ②給与収入 18万円（シルバー派遣等による短期就職期間の賃金）
- ③公的年金収入 150万円



（1）配分金収入及び給与収入に係る所得の控除

（最低保障額）	（給与所得控除額）		〔雑所得（配分金所得）分の最低保障額〕
650,000円	-	180,000円	= 470,000円
（最低保障額の残高）	（配分金収入）		〔雑所得（配分金所得）分の特例経費〕
470,000円	<	520,000円	→ 470,000円 → 最低保障額の残高で頭打ち。

従って、この場合

$$520,000円 - 470,000円 = 50,000円が控除後の所得となります。→ (A)$$

（2）公的年金収入に係る雑所得の控除

$$1,500,000円 \times 100\% - 1,200,000円 = 300,000円$$

割合や控除額については、「公的年金等に係る雑所得の速算表」（税務署にあります）から算出してください。従って、この場合300,000円が控除後の所得となります。→ (B)

（3）基礎控除

配分金収入、給与収入、公的年金収入に係る所得控除後の所得合計額

$$(A) + (B) = 350,000円$$

（基礎控除）

$$350,000円 - 380,000円 = (\text{マイナスとなるので} 0)$$

従って、この会員の場合、課税所得はないので、確定申告は必要ありません。

なお、配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得控除及びその他の控除については、最寄りの税務署にお尋ねください。



【春日部税務署】

住所 春日部市大沼2-12-1

電話 048-733-2111（自動音声案内）

事務局だよ！

アンケートにご協力ください

シルバー人材センターにおける就業には、高齢者の自尊心や社会的存在感などの幸福感を高める効果が認められており、最近では、医療費や要介護認定者の割合を低くする可能性も報告されています。

ダイヤ高齢社会研究財団では、シルバー人材センターと共同で、就業することがどのようにに介護予防に効果があるか、調査研究を行っており、当センターもこの共同研究に参加し、会員の「健康・生活アンケート」を実施することにいたしました。二月上旬にアンケートを実施する予定になっておりますので、会員の皆さんのご協力をお願いいたします。



「配分金支払証明書」を発行します

平成二十八年中に配分金の支払を受けた方には、配分金支払証明書を二月上旬に郵送いたしますので、確定申告にご利用ください。

詳細な内容につきましては左記の関係機関にご相談ください。

春日部税務署

☎ 048-733-2111

久喜市役所 市民税務課

☎ 22-1111

ご利用ください！就業相談

未就業者を対象とした「就業相談日」を設けています。

相談日 毎月第二・第四木曜日

時間 午前九時～正午

場所 シルバー人材センター

※相談希望者は、必ず事前に事務所にご連絡ください。

※必ず就業に就けるものではありません。予めご了承ください。

事務所休業日

十二月二十九日から一月三日まで事務所の業務はお休みとなります。

新年は、一月四日からの業務開始となりますので、よろしくお願いいたします。

働く仲間の輪を広げよう！！

ご近所やお知り合いの方に、元気で働く意欲のある方はいらっしやいませんか？センターでは会員を募集しています。特に女性会員が不足していますので、是非お誘いください。



編集後記

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お元気に新年を迎えられましたことお慶び申し上げます。

今年も「安全は、全てに優先する」を合言葉に、事故無く健康な一年を送りましょう。

今年も「安全は、全てに優先する」を合言葉に、事故無く健康な一年を送りましょう。

部会員 原田美智子

「シルバー久喜」第七号
発行日 平成二十九年一月一日
編集 普及啓発部会
杉山佳佑 亀田文江 遠藤明
岩本勝司 杉山賢司 原田美智子
宮原三郎 和田一也